

第四期板橋区子ども読書活動推進計画 第2回検討委員会

参考資料

基本方針 1

子どもの視点に立った取組みを実施し、読書の習慣化をめざす

子どもの読書を支援する人材 ③板橋区立図書館サポーター 【資料9ページ】

1 事業概要

図書館運営・事業を支援していただくパートナー（登録制のボランティア）。

個人登録と団体登録があり、個人登録者は原則「養成講座」を受講後に登録する。

2 登録数（令和6年8月1日現在）

個人	一般	264人
	翻訳のみ	26人
団体	読み聞かせ	5団体
	障がい者サービス	1団体

3 活動内容（子どもの読書に関するもの）

種別	内容
おはなし （読み聞かせ）	絵本等の読み聞かせやストーリーテリング・紙芝居等を行う。 ＜主な活動先＞ 図書館・小学校・区内施設（保育園・あいキッズ・児童館等）・各種イベント（公園・動物園等）
学校図書館運営補助	書架整理、本の貸出・返却、本の修理、室内装飾等を行う。
外国語翻訳	外国語絵本の抄訳（日本語あらすじ作成）、外国語絵本の読み聞かせを行う。

子どもの読書を支援する人材 ①子ども司書

【資料10ページ】

1 事業概要

(1) 目的

- 本や図書についての知識を深める。
- 学校や家庭、地域において読書の楽しさを伝えるリーダー的役割を担う子どもの人材を育成する
- 将来のキャリア形成につなげる。

(2) 認定方法

本の分類や読み聞かせ、図書館の仕事など全5回の講座を修了すると「子ども司書」として認定される。

(3) 認定状況

年 度	認定数
令和5年度	上板橋第四小学校（4・5年生）9人
令和6年度	前野小学校（4・5年生）6人

※今後、対象を拡大していく予定

基本方針 1

子どもの視点に立った取組みを実施し、読書の習慣化をめざす

子どもの読書を支援する人材

①子ども司書

【資料10ページ】

2 主な活動実績

活動名	内容
校内活動（イベント実施）	子どもたちの発案で、学校の人気の本を調査し、紹介POPの校内展示をするイベントを企画実施
「私のひと棚絵本図書館」制作	牛乳パックなどで小さな本棚を作成。自分で決めたコンセプトに沿ったおすすめの絵本10冊をセットし、イベントで展示
本の紹介POP制作	新1年生におすすめする本や「いたばし国際絵本翻訳大賞」受賞絵本の紹介POPの作成
図書館の書架整理	中央図書館児童コーナーの書架を定期的に整理

基本方針 1

子どもの視点に立った取組みを実施し、読書の習慣化をめざす

子どもの読書を支援する人材 ②大学連携

【資料11ページ】

大学名	事業名	内容
東京家政大学	おすすめ絵本の紹介POP展示 (令和6年度)	学生が作ったおすすめ絵本の紹介POPを中央図書館児童コーナーで展示した。
淑徳大学	プロモーション動画制作 (令和5・6年度)	「いたばし国際絵本翻訳大賞」事業を広く周知するため、学生がプロモーション動画を制作し、区の公式YouTubeチャンネルで配信した。
	物語づくりワークショップ (令和6年度)	学生が小学生とともに、オリジナルカードを使って「夢」と「空想」をテーマに物語づくりを行った。
日本女子大学	わらべ歌 収集プロジェクト (令和4～6年度)	サラボルサ児童図書館の実施するP.O.L.P.A.プロジェクトに、日本女子大学の協力により参加。 小学生を対象に板橋の子どもたちが日頃歌い遊んでいる“わらべ歌”を収集した。
	親子読み聞かせ講座 (令和4～6年度)	児童学科教授とそのゼミ生たちが、乳幼児の保護者・プレ保護者を対象とした読み聞かせ講座を行った。

中学校における司書の配置について

- ・各学校において週 1 日（年間48日）の配置

※小学校は区内10校を対象に週 2 日の配置（令和 6・7 年度）

- ・配置時間（原則）

午前 8 時15分から午後 4 時45分までの間の 6 時間とし、具体的な出退勤及び休憩時間は配置校の時刻表に合わせて調整する。

中学校における学校図書館の開放時間

- ・昼休み、放課後など、学校によって異なる。
- ・開放時間は、図書担当教諭、図書委員などが常駐している。

中学生の声①（職場体験参加者アンケートより）【資料15ページ】

質問 1 中学生が図書館にもっと来たいと思うようにするには、何が必要だと思いますか？

- ◆ パソコンを使用して勉強できるスペースを増やす。
- ◆ 期間限定イベントを増やす。
- ◆ 漫画を増やすと男子も興味をもってくれる。
- ◆ 作業・勉強ができるスペースがもっとあれば図書館に行きたいと思う。
- ◆ 漫画や月刊誌、CD等の中学生の興味の湧く本があることをアピールする。
- ◆ ティーンズルームの拡張(しゃべりながら勉強できるスペース)
- ◆ 人気のある本を置く。
- ◆ DVDのバリエーションを増やす。
- ◆ 話題の本を入口から見やすい位置におく。
- ◆ 自然で豊かな音楽を少しの音量だけ流すと気分がよくなる(勉強スペース以外の場所で)。
- ◆ 流行りの小説などを置いて、図書館に行きたい！という気を引かせる。
- ◆ 漫画をゆっくり読むスペース。

中学生の声②（職場体験参加者アンケートより）【資料15ページ】

質問2 中学生が「読書が楽しい！」と感ずるためには、何が必要だと思いますか？

- ◆ 誰でも楽しく読める本がたくさんあって、誰かと交流できるようにする。
- ◆ インターネットで図書館でできることを増やす。たとえばインターネットで本を借りてWEB上で読めるようにする。（いそがしくていけない人も多いから）
- ◆ いろいろな種類の本があるとよいと思う。
- ◆ 前に読んだ部分とのつながりがあったり、ここはこういう意味だったんだと分かったりした時に「楽しい」と感ずると思う。
- ◆ 若い世代で流行っている本や有名な本を読むと良いと思う。
- ◆ 本の感想を話し合えるスペースがほしい。
- ◆ 本の感想がわかるシステムが必要
- ◆ 誰かに本をすすめられたり、オススメの本を紹介したりしてもらえると興味を持てると思う。
- ◆ かわいいしおりがあったら楽しいと思う。
- ◆ 最近話題になっているアニメのマンガを見えやすい場所に置いたら興味がわくと思う。
- ◆ 何冊あるいは何ページ読んだら、ブックカバーやしおりをプレゼントするなどの景品をつける。
- ◆ 静かに本の世界に入れるスペース、ポップを作って展示する。

中学生の声③（職場体験参加者アンケートより）【資料15ページ】

質問 3

パソコンやスマートフォンで本が読めることは、中学生が読書をするきっかけになると思いますか？
その理由も教えてください。

「きっかけになる」の理由

11人中8人

- ◆ 空いている時間や電車・バスの時間など、気軽に読書ができる。
- ◆ 無料漫画アプリで続きを読みたいと本を買う人もいるので、きっかけになると思う。
- ◆ 手軽に読めるので、わざわざ図書館に行く必要がなくなるから。しかし、自分は、本は紙で読みたいと思う。
- ◆ パソコンやスマートフォンで本を読むと、本に興味がわいて読書がしたくなると思う。
- ◆ 書店や図書館に行かなくても気軽に読める。
- ◆ 図書館に行く時間がなかったり、家から遠い時に気軽に家で読める。
- ◆ 周りの目を気にせずに読める。
- ◆ 読みたい本を探すのが簡単。

「きっかけにならない」の理由

11人中1人（無回答2人）

- ◆ 読んでいると目や頭が痛くなる。

読書バリアフリー法

【資料20～26ページ】

誰もが読書ができる
社会を目指して

読書のカタチを選べる「読書バリアフリー法」



関係団体からのメッセージ

読みが困難な人も利用ができる

藤堂 栄子さん (認定NPO法人 エッジ 会長)

発達障害で読みにくさがあるディスレクシアの人は、紙と文字だけではなくていろいろな媒体から情報を得ることを望んでいます。文字は入り口ですが、その先にある内容に触れ、特に今はやりの雑誌や小説、世界のニュースなどを幅広く気兼ねなく利用して自分のものとしていきたいのです。

ぼくに、わたしに合った読み方、教えてくれる図書館!!

見形 信子さん (認定NPO法人 DPI日本会議)

世の中にはわからないこと、不思議なことがたくさんあります。どうして?もっと知りたいなーに伝えてくれる。図書館は情報のテーマパークです!!
図書館では本がしゃべり、音楽みたいに聞き、触り、読むことができます。私たちの目と耳と手、いろんな読書の方法が選べます。さあ、まちの図書館に行ってみよう!!

最寄りの図書館から、新たな読書スタイルを、新たな本の発見を

三宅 隆さん (社会福祉法人 日本視覚障害者団体連合 情報部長)

「読書バリアフリー法」が目指す社会を実現することにより、読書することをあきらめていた人、別の方法で読書することを知らなかった人にとって、新たな読書スタイルを確立することができます。そして、国内・海外のアクセシブルな図書が利用できることで、生活の質を上げ、社会参加につながると期待されます。

お問い合わせ先 (本リーフレットの電子版もダウンロードできます)



文部科学省『誰もが読書
をできる社会を目指し
て』

読書バリアフリー法

【資料20～26ページ】

2019年6月に

「読書バリアフリー法」^{※1}が 成立しました！

※1 正式名称は「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」です

「読書バリアフリー法」とは？

障害の有無に関わらず、すべての人が読書による
文字・活字文化の恩恵を受けられるようにするための法律です。
さまざまな障害のある方が、利用しやすい形式で
本の内容にアクセスできるようにすることを目指しています。

どんなことが変わる？

図書館の本も、書店で販売される本も、一層利用しやすい形式に
なっていきます。ぜひ、図書館の本やサービスを利用してみてください。

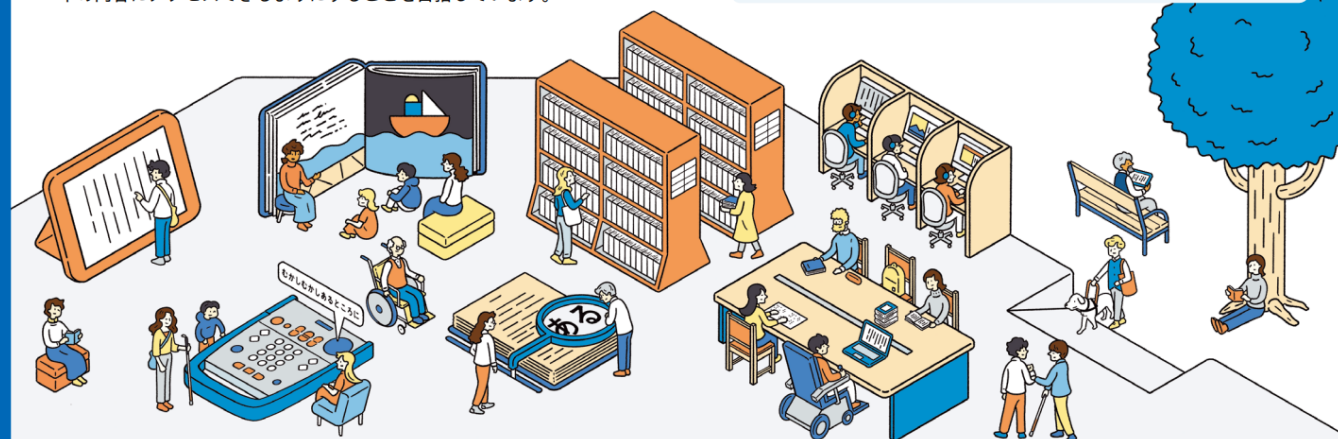
紙の本

点字の本のほか、文字の大きさやフォントを変えて読みやすくした本が
入手しやすくなります。

デジタルの本

パソコン・タブレット・スマートフォンを使って、さまざまな便利な
機能により、自分に合った方法で読める本が増えます。

- 文字の大きさや色を変える
- 漢字にふりがなを付ける
- 内容を音声で読み上げる
- スイッチを使ってページをめくる



文部科学省『誰もが読書
をできる社会を目指し
て』

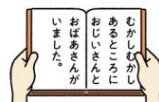
読書バリアフリー法

【資料20～26ページ】

図書館で利用できるさまざまな本

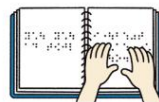
大活字本

目の見えにくい方にも読みやすいように、
大きな文字で書かれています。



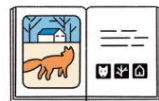
点字図書

点字に翻訳（点訳）された本です。点を使って
図や絵を表したものを「点図」といいます。
点字と点図を透明なシートに打って、
絵本に貼った「点訳絵本」もあります。



LLブック

やさしい言葉で分かりやすく書かれた本です。
ピクトグラム（絵文字）や写真・図を使って
理解を助けています。



布の絵本・さわる絵本

布・革・毛糸などを用いて作られた絵本で、
触って絵の形が分かるようになっています。
ボタンをとめたり、ひもを通す仕掛けがあり、
楽しみながら読むことができます。



DAISY ※2

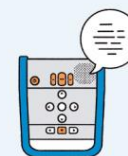
※2 「Digital Accessible Information System」(アクセシブルな情報システム)の略称です

デジタル録音図書の国際標準規格です。

目次から、読みたい見出しやページに移動することができます。

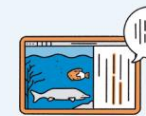
音声DAISY

図書や雑誌の内容を録音して音声にしたものです。
図や写真の説明も入っています。
目次やページ情報が収録されているので、
本をめくるように読むことができます。
音声の速さも変えることができます。



マルチメディアDAISY

文字や画像をハイライトしながら、
その部分の音声と一緒に読むことができます。
パソコンやタブレットなどを使って再生します。
文字の大きさや背景の色も変えることができます。



電子書籍

目の見えにくい方などに配慮した電子書籍は、パソコン・スマートフォン・
専用機器を使って、目次から読みたいページに移動したり、文字の大きさ・
色・フォント・背景の色を変えることができます。
内容を音声で聴くことができる電子書籍も増えています。

文部科学省『誰もが読書
をできる社会を目指し
て』

読書バリアフリー法

【資料20～26ページ】

図書館で利用できるサービス

公立図書館

貸出・郵送サービス

さまざまな種類の本の貸出を行っています。
点字・録音図書や雑誌は、一部の障害者に無料で郵送
できます。本を自宅に郵送してくれる図書館もあります。



対面朗読サービス

図書館の本や持参した本を、朗読者が直接読み上げます。
短いものは電話で対応してくれる図書館もあります。



機器の利用

読書を支援する機器を利用できる図書館もあります。
機器の使い方も教えてくれます。

- 文字を拡大して表示する「拡大読書器」
- 音声DAISYなどを再生するための「DAISY再生機」



点字図書館

図書や雑誌の録音・点訳・貸出を中心に、目の見えにくい方に向けた
相談も受け付けています。福祉サービスや施設の紹介、視覚障害者用
機器の使用法の説明などです。蔵書にない印刷物の録音・点訳、
対面朗読サービス、点訳・音訳をする人の養成も行っています。

インターネットによるサービス



目の見えない方・見えにくい方、
活字の図書を読むのが難しい方が、
無料で利用できるサービスです。

サピエ図書館

sapie.or.jp/
☎06-6441-1078



インターネット上の電子図書館です。30万タイトル以上の
録音・点字・電子図書を、パソコン・スマートフォン・専用機器を使って、
読んだり聴いたりできます。録音・点字図書の貸出を依頼することも
できます。国立国会図書館（視覚障害者等用データ送信サービス）の
データも、一部を除いてサピエ図書館で利用できます。

利用方法

- 利用には申し込み手続きが必要です
- サピエ図書館に登録している図書館で利用することもできます
- お近くの点字図書館・公共図書館が、サピエ事務局へお問い合わせください

国立国会図書館

視覚障害者等用データ送信サービス

[ndl.go.jp/jp/
support/send.html](http://ndl.go.jp/jp/support/send.html)
☎0774-98-1458



国立国会図書館や全国の公共図書館や大学図書館などが製作した
約3万点のDAISY・テキストデータ・点字データなどを、
インターネット経由で利用できます。

文部科学省『誰もが読書
をできる社会を目指し
て』

絵本のまち板橋

絵本のまち関連事業の例（子ども対象とした事業）【資料28～30ページ】

絵本のまちプロジェクトは、政策企画課が主管課となり、各課で事業を展開している。

政策企画課

◆政策企画課の事業例

- ・区民まつり「絵本のまちひろば」
- ・小さな絵本館×子ども絵本プロジェクト
- ・リンテック株式会社音楽コンサート（ミニオーケストラの演奏とプロの声優による朗読）
- ・絵本×SDGs SDGs学習教材「いたばしさんぽ」の制作及び普及促進（いたばしオリジナルのSDGsボードゲーム）
- ・未来屋書店板橋店「絵本のまち板橋」特設コーナー

保育園

◆各保育園の事業例

- ・職員による絵本の作成（SDGs、環境講座など）
- ・保護者による絵本の作成、親子で絵本の作成（世界に一つだけの絵本を作る）
- ・保護者に向けた絵本の読み聞かせ
- ・ボランティアを活用したおはなし会

絵本のまち関連事業の例（子ども対象とした事業）【資料28～30ページ】

児童館

◆各児童館の事業例

- ・図書館、地域ボランティア、民生児童委員、近隣大学等と連携した絵本をテーマにした様々な活動
- ・年齢別プログラムによる読み聞かせ
- ・絵本の貸出しと読書記録のプレゼント
- ・手話による絵本の読み聞かせ
- ・英語で絵本の読み聞かせ
- ・その他、様々な形でおはなし会を実施

地域図書館

◆各地域図書館の事業例

- ・ミニ・ボローニャブックフェア
- ・絵本づくりワークショップ（小学生）
- ・英語でおはなし会
- ・出張おはなし会（近隣公園で開催されるイベント、児童館、こども動物園 等）
- ・すきな本投票イベント
- ・絵本かるた
- ・おもしろしかけ絵本講座
- ・その他、様々な形でおはなし会を実施

絵本のまち関連事業の例（子ども対象とした事業）【資料28～30ページ】

◆中央図書館での事業例

- ・ 図書館サポーターの育成及び派遣
- ・ 教育科学館と連携した読み聞かせイベント
- ・ ボローニャ・ブックフェアinいたばし
- ・ いたばし国際絵本翻訳大賞
- ・ 英語絵本活用イベント
- ・ サラボルサ児童図書館との連携（ぬいぐるみおとまり会、わらべ歌収集ワークショップ）
- ・ ブックスタートパックの配付
- ・ 親子読み聞かせ講座
- ・ 絵本づくりワークショップ（小学生・中学生）
- ・ 団体貸出・学校貸出
- ・ 小さな絵本館
- ・ おはなし会（乳幼児向け、外国語おはなし会、季節のおはなし会 等）

※その他、各課で絵本に関連した事業を展開している。